

牛の受精卵移植技術マニュアル

(畜産 肉牛部 外山分場)

本県の畜産を飛躍的に発展させる技術として受精卵移植技術が注目されている。

このため、昭和59年度から受精卵移植の技術開発を進めてきた結果、一定の技術水準を確保できたので、技術マニュアルを作成した。

① 技術の内容

図1 のとおり

② 指導上の留意点

このマニュアルによる技術レベルは、採卵成績で供卵牛1頭当り年間採卵回数1.9回、1回当り正常卵数6.3個、移植成績の受胎率で新鮮1卵52.9%、新鮮2卵71.4%、凍結1卵35.6%凍結2卵40.0%である。

今後、凍結卵の受胎率を60%まで向上することと受精卵のコストを下げる必要がある。

